

たいら行雄 県議会 ニュース

日本共産党



●発行/日本共産党鹿児島県議団 2024年春号(No.26)
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 099-286-3977
E-mail: kengidan@jcp-kagoshima.com

無料 生活相談: 毎週木曜日 午後2時~4時

たいら行雄事務所 鹿児島市坂之上3-1-3 TEL099-296-9507



ホームページ



Facebook

3月議会報告 2/20~3/26の36日間に渡って行われた2024年県議会第1回定例会では、令和5年度3月補正予算および令和6年度当初予算、条例改正等62件の議案が提案され、すべての議案が原案通り可決・成立しました。加えて、継続を含む25件の請願・陳情について審査が行われ、採択1件、不採択10件、継続14件という結果でした(主な内容は表紙裏面をご参照ください)。

日本共産党県議団は、提案された議案のうち4件、請願・陳情の委員会審査結果の4件について反対し、討論を行いました。その『反対討論』の内容についてご報告いたします。



一般質問を行う たいら行雄県議

令和6年度当初予算(約8,405億円)が賛成多数で成立!
共産党県議団は、看過できない問題点があるとして反対しました!!

◆県総合体育館の建設問題 知事は改めて県民の意見を受け止め、議論の継続を!

県総合体育館(スポコン)の建設については、次のような問題点があると指摘し討論しました。

- 1 建設予定地であるDP跡地は、本県にとって一番の景勝地であり重要な観光資源であることから、**景観の保全が重要な課題**であること。
- 2 DP跡地は桜島に極めて近く、**大噴火が起きた際には甚大な被害が懸念される**こと。さらに、地震による液状化が起こることは明らかであり地盤改良の経費が余分にかかること。
- 3 **施設整備費が313億円**と当初の計画から、既に**68億円も膨れ上がり**、最終的に幾らかかるのか予想できないことに加え、**今後15年間、毎年15~17億円**の支払いが発生することから、他の重要な施策(事業)への影響は避けられないこと。
- 4 交通インフラの整備が否応なしに必要となり、その費用も課題に上げなければならないこと。
- 5 県体育館の建て替えは必要であると考え、**コンベンション機能の必要性については疑問**であること。

これら5つの問題点を指摘した上で、将来世代に決して負の遺産を残すのではなく、県民が誇れる施設とするために、**県民の意見を真摯に受け止め、建設場所の再検討も含め議論を継続するよう、改めて知事に求めました。**

◆学校職員の定数減 学校現場の問題を深刻化することから認められない!

そもそも、教職員の定数は国が定めており、その数は現場の過酷な状況とは乖離しています。子ども達の健全な育成のためには、より多くの教職員が現場に配置されるべきです。こうした中、**令和6年度の小中学校の定数が令和5年度より79名減**の提案となっており、教員不足の実態が全く考慮されていません。今回の定数減の理由を県教委は、「少子化による児童・生徒の減少」を上げていますが、これまで現場の教職員が足りないことによって、教職員の長時間労働が常態化され、そのためにメンタル疾患に罹患し現場を離れる教職員が増えている事実や、子ども達に向き合う時間が確保できないことによる弊害が生じていることを直視すべきです。そして、この問題を解決するには、現場の教職員を抜本的に増員することが急務と考えることから、提案されている「**教職員定数の削減**」に反対し、「**増員**」すべきことを強く求めました。

◆高すぎる国保料の引き下げ 「国保財政安定化基金」の96億円を最大限活用せよ!

令和4年度末の「**国保財政安定化基金**」残高が、前年度を24億円上回る約96億円となっていることから、国保加入者の保険料負担を軽減するために基金を有効に活用することが必要ですが、令和6年度は今年度と同額の5億円の取り崩しに留まっており、このままでは、令和6年度の被保険者一人あたりの保険料は平均で**5.5%、約6,000円/年の引き上げ**となってしまいます。具体的には、**県内43市町村のうち37市町村が引き上げ**となり、最も高いのは**十島村で30.3%、約37,000円/年の引き上げ**となり、最も国保加入世帯の多い**鹿児島市では6.9%、約8,000円/年の引き上げ**となります。各市町村は、国保加入者の保険料の引き上げを避けるために一般財政から繰入れていることから、市町村の財政負担がさらに重くなるのが非常に懸念されます。この間の物価高騰や年金削減などにより、県民の暮らしは苦しさを増してきており、中でも国保加入者の多くが中小業者や年金生活者で、より厳しい生活を強いられていることから、国保加入者の命と暮らしを守るために、**県が溜め込んだ96億円の「基金」を更に取り崩し、最大限活用**することを求めました。

(質問・答弁はホームページに掲載しています)

県民の大切な
命と暮らしを守るために、

塩田知事

1 能登半島地震を教訓に、 川内原発の20年延長運転 No!



一般質問を行う たいら行雄県議

今年元日に発生した能登半島地震は、甚大な被害をもたらしました。震度5を観測した志賀原発では、1・2号機の変圧器が壊れ、大量の油が漏れるという重大なトラブルが発生しました。幸いにも運転停止中であったことから大惨事は免れましたが、これにより「原発は地震で壊れる」ことが改めて実証されました。地質学の専門家は、川内原発周辺に活動層がある可能



性を以前から指摘し、「詳細な調査を行うべき」と訴えています。また、川内原発は基準地震動が著しく低い上に、稼働から40年の老朽原発であることから、専門家の指摘を踏まえ、20年延長運転については、改めて活断層調査を行った上で判断するよう求めましたが、県は「専門委員会で議論した結果、特段の異論はなかった」との答弁でした。地震は、いつ襲ってくるか分かりません。今回の能登半島地震を教訓に、再び原発の過酷事故を発生させないために、寿命を迎えた川内原発は直ちに止めて廃炉にすることが必要と考えることから、改めて川内原発の20年延長運転の中止を求めました。

3 重度心身障害者医療制度への 「所得制限導入」No!

今議会では、これまで50年間続いてきた「重度心身障害者医療制度」の改善提案（自動償還払い方式）も行われましたが、今回の提案では「所得制限」の導入も伴っていることから、

対象となる障害者にとっては、これまで無料であった医療費が、年間で平均6万円程度の自己負担が、新たに発生する事となり、非常に問題のある提案です。

こぼつけた 3つのNo!

2 本県への軍事基地&基地関連施設の受け入れNo!

本県では、馬毛島への基地建設や奄美のミサイル基地強化、鹿屋への無人偵察機の再配備など軍備の増強が進められています。さらに、昨年末には、さつま町に弾薬庫の建設計画があることが明らかとなり、地元には大きな不安が広がっています。さつま町では、その後の住民の調査により、弾薬庫だけでなく、実弾射撃場や演習場のほか、敵基地攻撃施設やオスプレイの発着場など、様々な軍事施設の誘致を、町が防衛省に提案していたことが分かりました。

これは、さつま町民だけでなく、全県民の命と安全に関わる重大な問題です。

さらに政府は、民間の空港や港湾を軍事利用するために、インフラの改修・整備を考えており、本県では鹿児島・徳之島の2空港と、鹿



児島港をはじめ6つの港湾が候補に上がっています。

これらの危険な計画について、塩田知事に「毅然とした態度できっぱりと拒否する」よう求めましたが、知事は、「国会で議論していただく問題」として明言を避けました。今後も、戦争につながる危険な計画については、決して受け入れないよう知事に求めていきます。

そこで、「所得制限」の撤廃を知事に求めましたが、知事は「相当程度の収入のある方については、ご負担いただくことに御理解をいただきたい」と冷たい答弁でした。



さらに、「子ども医療費の窓口無料」について県は、来年度に向けて「未就学児の現物給付」を検討していますが、これでは鹿児島

市と徳之島町については、これまで通り2,000円と3,000円の一部負担が残ってしまうことから、すべての市町村で自己負担が発生しな



いよう、改めて県の制度を改正するよう求めましたが、「財源不足」を理由に前向きな答弁は得られませんでした。

したがって、今後も引き続き「子ども医療費の窓口無料」の早期実施をめざして頑張ります。

2024年県議会第1回定例会の 議案についての各会派の態度



(無所属を除く会派)

○賛成・採択 ×反対・不採択 ▲継続		共産	自民	県民 連合	公明	議決結果
議案	令和6年度鹿児島県一般会計予算(県総合体育館建設予算、 重心医療の制度変更、ほか)	×	○	○	○	原案可決
	令和6年度鹿児島県国民健康保険事業特別会計予算(国保料 の引き上げ)	×	○	○	○	原案可決
	鹿児島県核燃料税条例制定の件(20年延長運転に伴う条例延長)	×	○	○	○	原案可決
	鹿児島県学校職員定数条例の一部を改正する条例制定の件 (小中学校教員の定数減)	×	○	○	○	原案可決
	その他、38件の議案および2件の人事同意議案	全会一致で採択・承認				
主な 請願・ 陳情・ 意見書	陳情5010号 すべてのケア労働者の賃上げ・人員増をもと める陳情書(県医労連提出)	全会一致で採択・承認				
	陳情1011号 川内原発20年延長に関する陳情書(ストップ 川内原発3.11実行委員会提出)	○	×	×	×	不採択
	陳情1012号 20年運転延長は基準地震動の安全対策工事完 了が必至を求める陳情書	○	×	○	×	不採択
	陳情3002号 奄美群島内の空港・港湾の『特定利用空港・ 港湾』指定に反対する陳情	○	×	▲	×	不採択
	陳情2012号 鳥インフルエンザ埋却地に起因する長迫池等 の復旧整備について	○	▲	▲	▲	継続審査
	陳情5002号 子ども医療費の窓口無料化(現物給付)を求 める件について	○	▲	○	○	継続審査
	陳情5007号 健康保険証存続を求める意見書の採択を求め る陳情書(県保険医協会提出)	○	▲	○	▲	継続審査
陳情5012号 全ての看護職員の処遇改善を求める陳情書 (県民医連提出)	○	▲	○	▲	継続審査	

無料 生活相談を行っています。

毎週木曜日 午後2時～4時

たいら行雄事務所 電話099-296-9507 鹿児島市坂之上3-1-3